随想 〈第二十七回〉

旭市の魅力を子どもたちへ

市長　米本弥一郎

本年の「二十歳の集い」に出席したときのことです。来賓の1人が約500人の20歳の皆さんに2つの質問をしました。「現在、就職や学業で旭を離れている人は？」との質問には約250人が、「将来的に旭に帰ってきたいと考えている人は？」との質問には約120人が、手を挙げました。

旭市の人口減少の要因の一つは、高校卒業と同時に故郷を離れてしまうことです。「また戻ってきたい」と思えるまちづくりの重要性を再認識した瞬間でした。

これまで、私は市民との対話集会などで、さまざまな分野・世代の方々からお話を伺ってきましたが、皆さん共通しているのは、旭市の特長に、食の豊かさと充実した医療体制をあげていることです。

新鮮でおいしい農産物は、全国屈指の農業産出額を誇り、また、飯岡漁港は、豊富な海の幸が水揚げされることで知られています。さらに、旭中央病院は、24時間365日市民をはじめ医療圏90万人の命と健康を守る東総地域の基幹病院です。

広報あさひ本号では「このまちでずっと暮らそう」と題し、旭市への移住・定住について特集しています。

私は学生時代の1年間を除いて、ずっと旭市で暮らしています。私にとって旭市は、何をするにも「ちょうどいいまち」です。

新鮮で豊富な食材と、安心できる医療体制、温暖な気候に、歴史や文化などの、さまざまな資源と、それらが織りなす人々のあたたかさは、旭市の誇りです。

これらの資源を築いた先人に感謝し、旭市の魅力を子どもたちに伝え、全国へ発信していきましょう。

図書館へ行こう

開館時間／火～金曜日：午前９時～午後７時
土・日曜日、祝・休日：午前９時～午後５時
今月の休館日／月曜日、15日(金)
圀市図書館(☎62-2560)　https://www.library-asahi-chiba.jp/

おはなしの時間

幼児向けの絵本の読み聞かせ
日時／２日(土)　午前10時30分～11時
16日(土)　午前10時30分～11時
場所／県立東部図書館３階　研修室

今月のおすすめ

「東京都同情塔」
九段理江 著（新潮社）

差別がなく寛容な新感覚の刑務所にという条件を出され、設計に試行錯誤する建築家の牧名沙羅。生成ＡＩや年下の恋人から案を探り、完成した塔とは…。

「ぼくは青くて透明で」
窪美澄 著（文藝春秋）

継母と暮らす同性愛者の海。転校先の高校で、良家の長男で優等生の忍と恋に落ちる。２人で東京に行くという約束通り、卒業後上京するが、関係が変わり…。

新着図書

- はじめてのギリシャ神話解剖図鑑 (河島思朗)
- 道長ものがたり (山本淳子)
- 親の家を売る (永峰英太郎)
- 家で死ぬということ (石川結貴)
- 遠距離介護の幸せなカタチ (柴田理恵)
- 心が壊れる「ゲーム依存」からどう立ち直るのか (樋口進)
- 注文に時間がかかるカフェ (大平一枝)
- 住まいかた解剖図鑑 (大島健二)
- 心ときめく和のお菓子 (西川千栄)
- スマート農業 (農業・食品産業技術総合研究機構)
- 父がしたこと (青山文平)
- 余白の迷路 (赤川次郎)
- 錠剤Ｆ (井上荒野)
- 予幻 (大沢在昌)
- 互換性の王子 (雫井脩介)
- ジェンダー・クライム (天童荒太)
- 一線の湖 (砥上裕將)
- 文庫旅館で待つ本は (名取佐和子)
- ラストエンペラー (楡周平)
- 香子 (帚木蓬生)
- 人間標本 (湊かなえ)
- 風に立つ (柚月裕子)